

T.M.P. NEWS

VOL.54 2020.1

T.M.P.

新年あけましておめでとうございます。

令和最初の新年を迎えるにあたり、新たな時代が皆様にとりまして、実り多き物になりますことを心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年も良否様々な事が起こったわけですが、日本中を熱狂させてくれたのは、なんといってもラグビーワールドカップでの日本チームの大活躍だったと思います。前回号でも書きましたが、私共家族も全員豊田スタジアムに陣取り、応援の末に大感動をいただきました。半分以上が外国人でありながら、チームとしての日本らしさを失わず、互いの利点を活かしながら、ワンチームとなって外国勢を打ち破る姿は、日本がこれから目指すべき姿の理想形と言えるのではないのでしょうか。

日本の少子高齢化を憂う話は連日のように報道されています。少子高齢化が進んで行く中であって、活力を失わないためにも、優秀な外国人に如何に日本に住んでもらうかが重要なことだと考えます。そのことを嘆く方も多くいらっしゃると思いますが、ラグビー日本チームの一人一人の輝いている姿を見ると、私には、むしろそうなった先の日本がどのように成長していくのかを想像すると、わくわくしてきます。

株式会社 東海メディカルプロダクツ

代表取締役社長 筒井康弘



※年賀状の送付に代えまして、TMPNEWSにて年賀の御挨拶を申し上げます。

ロシア サンクトペテルブルク表敬訪問

2019年11月23日～28日、愛知県公立大学法人(愛知県立芸術大学)の鮎京理事長よりお誘いを受け、学术交流協定や共同研究をしている先への訪問を目的としたロシア・サンクトペテルブルク表敬訪問に、筒井会長と筒井副会長が同行させていただきました。愛知県立芸術大学には筒井夫妻として「創立50周年記念事業」や「病院アウトリーチ事業」の主旨に賛同して資金援助(寄付)をさせていただいた縁もあり、今回一緒させていただくことになりました。

最初に「在サンクトペテルブルグ日本領事館」の飯島総領事を表敬訪問し、学术交流協定を締結している「リムスキーコルサコフ記念サンクトペテルブルク音楽院」では国際音楽フェスティバルの件で、サマルカンドペーパーを共同研究している「エルミタージュ美術館」へは今後の調査研究の件で表敬訪問いたしました。



筒井会長 名古屋商工会議所 常議員就任



2019年11月1日、名古屋商工会議所にて第44回臨時議員総会が開催され、山本亜土会頭(名古屋鉄道株式会社・代表取締役会長)が再任(2期目)、7名の副会頭が再任・新任されました。また専務理事には内田吉彦様を選任され、新体制がスタートしました。

また今回の議員総会で常議員(定員50名)も承認され、筒井会長が新しい常議員の一人として就任いたしました。

愛知県茶会

2019年11月9日、愛知県公館で行われた大村知事主催の「愛知県茶会」(愛知県茶業連合会との共催)に筒井会長、筒井副会長が出席いたしました。今年は志野流が協力流派として担当しており、家元の蜂谷宗玄様も会場にいらっしゃいました。とても天気の良い秋晴れの中、緑に囲まれた公館のお庭で、和やかな雰囲気で行われました。



名古屋大学博士課程教育リーディングプログラム 「PhDプロフェッショナル登龍門」7期生 講義

2019年11月16日、筒井会長が名古屋大学で客員教授を務める「博士課程教育リーディングプログラム」の7期生に対して、名古屋大学 特任教授 足立守先生との対談方式での講義を行いました。終了後の懇親会では講義についての質問だけでなく、日本の御茶の文化にも話題がおよび、和やかな会となりました。

この登龍門プログラムは、優秀な学生を産学官に渡ってグローバルに活躍するリーダーへと導くため、専門分野の枠を超え、世界に通用する学位プログラムを構築・展開する大学院教育の根本的改革を支援する文部科学省・日本学術振興会の事業でしたが、2019年4月以降は国から予算が出なくなることになりました。それを聞いた筒井会長は、このプログラムは是非続けるべきだとして名古屋大学・松尾総長にプログラムの継続をお願いし、自ら寄付をただけでなく、旗振り役となって寄付金集めを始めました。民間からの資金で活動することによって、より良いプログラムになることを祈っています。



第57回日本人工臓器学会大会「Yoshimi Memorial T.M.P. Grant」

2019年11月13日～15日、大阪・大阪国際会議場・リーガロイヤルホテルにて第57回日本人工臓器学会大会(大会長:大阪大学大学院心臓血管外科 戸田宏一先生)が開催されました。

この日本人工臓器学会には、民間の協力を得て、将来発展が期待される日本発の全く新しい idea、萌芽的研究を掘り起こし、これらの研究に対して助成を行う制度があります。通常は会社名を冠する Grant ですが、特別に許可をいただき、夭折した筒井夫妻の次女の名前を冠し、「Yoshimi Memorial T.M.P. Grant」として、1996年から開始して今年で24回目です。

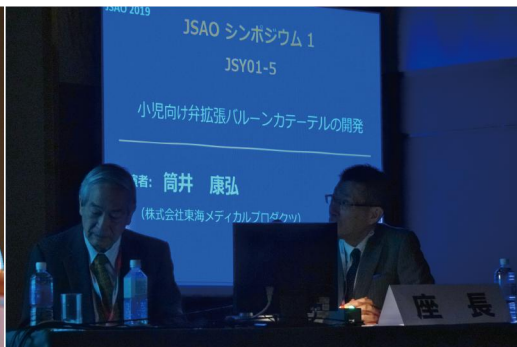
総会・評議員会の場で表彰式が執り行われ、「血管モデル内壁にかかる力が視えるカテーテルシミュレータの開発」を研究された弘前大学大学院・理工学研究科の森脇健司先生、「補助人工心臓治療における微小循環可視化—Laser Speckle Flowgraphyによる網膜血流評価」を研究された国立循環器病研究センターの島村淳一先生への表彰を行いました。



JSAO シンポジウム 医療産業促進委員会企画シンポジウム
「希少疾病に対する人工臓器研究・開発の実用化、事業化に向けての取り組み」

第57回日本人工臓器学会大会会期中の11月15日、医療産業促進委員会企画シンポジウム「希少疾病に対する人工臓器研究・開発の実用化、事業化に向けての取り組み」に筒井社長が登壇いたしました。

昭和大学小児循環器・成人先天性心疾患センターの富田英先生を始めとする臨床現場の先生方だけでなく、国立医薬品食品衛生研究所の岡本吉弘様や独立行政法人医薬品医療機器総合機構の高橋彩来様など総勢10名が登壇し、活発な議論を行いました。筒井社長は「小児向け弁拡張バルーンカテーテルの開発」というテーマで開発経緯や課題、今後の展望について発表いたしました。



Incathlab ライブセッションへの参加



2019年11月6日～7日、ドイツ・ベルリンで行われたIncathlab ライブセッションに参加しました。同セッション参加の目的は、Carnelian™ Support (=Prominent)の欧州全域での当社代理店であるBiotronikの販売促進のため、札幌時計台記念病院・浦澤一史先生を招請し、日本での0.014”ガイドワイヤーを使用した手技の啓蒙とガイドワイヤーでCTO病変を突破するために必要なサポートカテーテルとして、当社Carnelian™ Supportの有用性を広く欧州に広めていただくことでした。



11月6日、実際の症例と録画が行われる施設であるSankt Gertrauden-Krankenhaus (ベルリン・ドイツ)に訪問。計3例の手技が行われ、3例全て録画をしました。術者の先生は、浦澤先生他、Dr. Ralf Langhoff(ドイツ)とDr. Mariano Palena (イタリア)の3名が、それぞれ各1症例実施。浦澤先生には、スタンダード150cmをご使用いただきました。

翌11月7日、ベルリン・マリOTTホテルにて録画した動画を編集し、3名の先生とIncathlabスタッフで動画放映前の打合せ後、ネットを通して全世界に向け配信されました。動画はいつでも視聴可能です。(右下QRコード参照)



欧州と日本での手技の傾向が違うため、使用するデバイスも異なってきます。0.014”ガイドワイヤー+サポートカテーテルを使う日本の手技の広がり、欧州でのCarnelian™ Supportの拡販に重要になってきますので、今後も日本のKOLの先生方、Biotronikの力を借りながら、当社の認知度向上と売上増加を目指していきます。(西川 記)



あいち産業貿易振興会 経営者懇談会



2019年12月4日、あいち産業貿易振興会の経営者懇談会にて筒井社長が講演を行いました。あいち産業貿易振興会は愛知県の関係団体である「あいち産業振興機構」の国際ビジネス会員を母体として、会員相互の連携強化を図るために平成18年に設立された団体で、企業経営・海外展開等に資する講演・意見交換会を年に数回開催しております。



今回は当社の設立経緯と、海外への輸出状況やフィリピン工場設立など当社の海外展開の取り組みについて話をいたしました。発表後の質疑応答では当社の経営理念についてや、米国の認証機関であるFDAへの対応、更には、どの病院に受診すべきかなどのお話も飛び出しました。終了後には参加された方々との懇親会にも出席し、有意義な意見交換をさせていただきました。

第35回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会



2019年11月21日～23日、福岡国際会議場にて第35回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会が開催されました。

当社は21日にアフタヌーンセミナーを実施し、「血管内治療、次の一手」—知っておくべきtips pitfall—という内容で昭和大学藤が丘病院の寺田友昭先生、津本智幸先生にOPTIMO® EPDの基本的な使い方を始めとするtipsから動脈瘤症例でのpitfallまで実際の臨床症例をご講演いただきました。セミナー会場に入りきれない程の多くの先生方にお集まりいただき、大盛況の内に終了致しました。展示会場にも全国よりたくさんの先生方にお立ち寄りいただき、OPTIMO® EPD、Carnelian® MARVEL®、Pinnacle Blue®等の製品の紹介を通じて理解を深めていただいたと感じております。

今後も国産企業として小回りの利く部分を活かし先生方のご要望にお応えし、患者様のお役に立てる製品開発に努めていかなければならないと改めて強く感じる機会をいただきました。今後ともご指導、ご鞭撻を何卒宜しくお願いいたします。(山元 記)

CCT 2019 (Complex Cardiovascular Therapeutics)



2019年10月24日～26日、CCT2019が神戸国際会議場・ポートピアホテルにて開催されました。当社は展示ブースにて、末梢血管内治療時に使用されるマイクロカテーテル「Prominent®」シリーズと心臓用マイクロカテーテル「ReACT」、新たに発売となる血管狭窄部貫通用カテーテル「TORQ-Porter®」、オクリュージョンバルーン「OPTIMO® PPI」を出展し、多くの先生方にお立ち寄りいただき、当社製品の紹介を通じて製品理解を深めていただいたと感じております。

24日にはランチョンセミナー「Concepts & Benefits of “ReACT” for PCI -A brand new low profile microcatheter for complex procedure-」を開催しました。座長に済生会横浜市東部病院・伊藤良明先生、演者に深谷赤十字病院・関口誠先生、豊橋ハートセンター・越田亮司先生、戸田中央総合病院・小堀裕一先生をお迎えし、発売となった「Prominent® ReACT」について、臨床使用経験を交えながらご講演いただきました。会場は立見が出る程多くの先生方にご来場いただき、大盛況にて終了致しました。

今後も国産企業として先生方のご要望にお応えし、患者様のお役に立てる製品開発に努めていかなければならないと改めて強く感じました。最後になりましたが、座長の伊藤良明先生、演者の関口誠先生、越田亮司先生、小堀裕一先生、当社ランチョンセミナーに來訪いただきました先生方に、この場を借りて御礼申し上げます。(永久 記)

～今後の学会出展予定(1-3月)～

- 2月21日～23日 Japan Endovascular Treatment Conference 2020 (JET2020) 【ナレッジキャピタル】
出展物(予定): Prominent®シリーズ、OPTIMO®PPI、TORQ-Porter®
- 3月26日～28日 第45回日本脳卒中学会学術集会(STROKE 2020) 【パシフィコ横浜】
出展物(予定): OPTIMO EPD®
- 1月28日～31日 The Leipzig Interventional Course (LING) 【Trade Fair Leipzig, Germany】
出展物(予定): Carnelian™ Support (Prominent™)
- 3月6日～9日 The Asia Pacific Society of Cardiovascular and Interventional Radiology 2020 【The Grand Hotel Taipei, Taiwan】
出展物(予定): Carnelian™、Carnelian™ Support、M-Lead™ Guidewire、Rescue Balloon

PC | PENETRATION CATHETER

TORQORter

〈マルチレイヤーテクノロジー〉

多層レイヤーからトルクロスの少ない操作性 ※回転限度:一方向に3回転以下

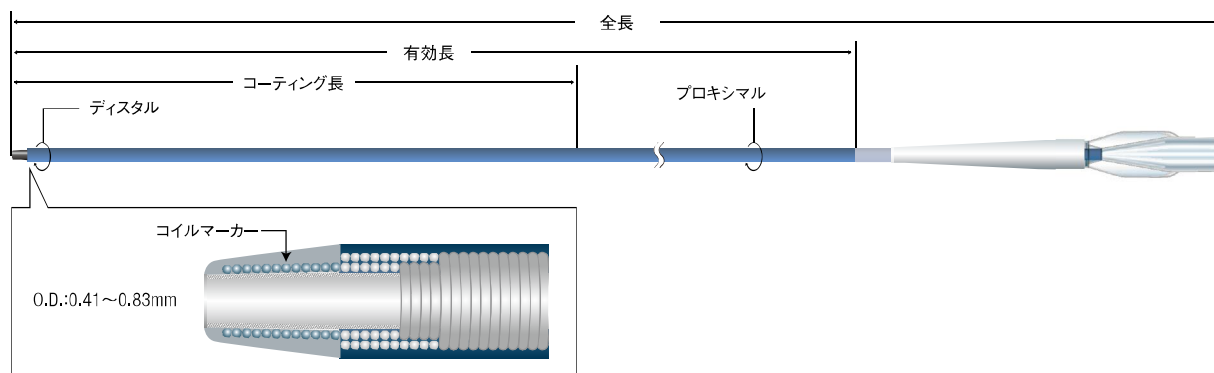
デュアルコイル構造による回転方向を問わないトルク伝達性を実現

ディスタルの特殊編組採用により強度と柔軟性の両立を実現 ※特許取得済

■仕様

カタログ番号	有効長 (cm)	全長 (cm)	コーティング長 (cm)	JANコード
PC-TP1409	90	97	60	4562382436632
PC-TP1413	135	142	100	4562382436649
PC-TP1415	150	157	120	4562382436656

ディスタル 外径(Fr) / 内径(inch)	プロキシマル 外径(Fr) / 内径(inch)	適合最小ガイドイング カテーテル 内径(inch)	適合最大 ガイドワイヤ径(inch)	マーカ―数	最大耐圧 (psi)
2.3 / 0.015	2.7 / 0.018	0.035	0.014	1	300



- 販売名: TMPサポートカテーテルⅢ
- 承認番号: 23000BZX00221000
- 一般的名称: 血管狭窄部貫通用カテーテル
- クラス分類: 高度管理医療機器 クラスⅣ
- 再使用禁止
- 保険請求分類: 狭窄部貫通用カテーテル

改良等の理由により、仕様の一部を予告なく変更する場合があります。本製品を使用する際には、必ず添付文書をお読みください。

コラム



高御座と天皇陛下



御帳台と皇后陛下



宮殿(正殿棟) ※出典:即位礼正殿の儀引き出物



即位礼正殿の儀 引き出物



饗宴の儀 引き出物

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2019年8月末に特許庁長官から突然電話があり、経済産業省として推薦して下さったとのことで10月22日:即位礼正殿の儀、10月31日:饗宴の儀に御招待いただくことになり、過日出席してまいりました。

10月21日夜に東京のホテルに宿泊しましたが、外国の要人が宿泊されている関係で館内は厳戒態勢で、入館時には荷物チェック、ホテル内各所でSPが目光らせておりました。当日は交通規制が行われる中で10:00に経済産業省に集合し、バスで宮中入りしましたが、式典の前後の長い時間を椅子に座り続け大変でした。それでも式典は厳かな雰囲気の中で天皇陛下が即位を国内外に宣言され、朝からの雨は儀式の直前に止み、虹までかかりました。

また、31日の饗宴の儀は大変厳粛な正殿の儀と違い、天皇皇后両陛下、皇族の皆様がおでましになって身近に接していただきました。大変貴重で光栄な経験をさせていただき、幸甚の至りでした。

筒井宣政

